

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KIZUNA 調布		公表日		2024年9月30日	
		チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点	
			はい	いいえ/わからない			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	●高学年になると少し狭く感じるが、運動量の確保はできるようメニューを組んでいる。	●高学年など体が大きいクラスは人数の調整や運動メニューなど、怪我や事故につながらないように配慮して支援を行う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	●シフト作成の段階でしっかりと組んでいる。 ●専門職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）等も多く配置し常に3人～5人体制で支援できている。	●通常時は適切な人員配置ができていますが、コロナやインフルエンザ、夏期休暇等の際は、職員が少なくなるため、他事業所からの応援等も含め対応している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	●段差等は無くバリアフリーにしている。 ●フロアにツール（器具）が一切落ちてないように気をつけて片付けている。	●子どもの注意集中のため、飾りつけなどはせず、極力シンプルな内装を心がける。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	●洗面台の下に子ども用のイスをセットしている。 ●道具は整理整頓されアルコール消毒を実施している。	●日々の清掃消毒のほか、整理整頓や目につきづらい場所も定期的に整え、心地よく過ごせる環境づくりを職員一人ひとりの心がけていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	●個室がない	●個別の部屋が設けられていないが、クールダウンなどで必要な場合はパーティションなどを活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2	●職員間で意見を出しやすい環境づくりをしている。 ●業務改善について、目標設定と振り返りまではできていない。	●適宜、ミーティングをして改善に努めている。 ●限られた時間の中でのミーティングになるが今後半年に1度など全体で目標設定と振り返りを行っていきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	●保護者向け評価アンケートを取り、改善点などは話し合いを行っている。 ●ホームページに保護者向け自己評価の公表を行っている。	●今後も保護者の意向等を把握し、より良い支援のため業務改善に努めていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	●日々のミーティングの際に共有、改善点を図っている。 ●子どもの情報は共有できているが、日々の業務を効率化する改善はそれほど行っていない。	●日々の業務を効率化するためのミーティングを設けていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3	●第三者による部外評価は、3年に一度行っている。	●頻度は今のペースを継続していくが、中長期的な改善についても取り組んでいきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	●様々な研修を受講する機会がある。 ●講義等があるときは共有している。 ●調布市主催の研修には全員参加している。	●今後も研修で学んだことを事業所内で共有し、支援に生かしていく。 ●職員が日々スキルアップしていける仕組みを整えていく。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	2	●ガイドラインの発達の5領域や子どもの発達段階に合わせ職員間で話し合い適切に作成されているが、公表はできていない。	●今年度中に公表できるようにしていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1	●一人ひとりのこどもが現在どのようなことに困っているのか、現在支援すべきことは何なのかなど職員間で話し合い、支援計画を作成している。	●今後も保護者のニーズや子どもの課題を適切に分析し、満足感を得られる支援を継続して行っていく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	●児童発達支援管理責任者と、実際に支援や指導をした職員の共通理解のもと、子どもの発達段階に合わせた検討が行われている。	●主観的にならないよう、職員全員で5領域を念頭に作成していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	●支援開始前、支援終了後に必ず職員間で支援計画を確認、共有し計画に沿って毎回支援を行っている。	●今後も来所児童の前回活動時の様子や配慮事項、プログラムの共有役割分担など入念に打ち合わせを行っていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	4		●現在インフォーマルなアセスメントツールの使用はないが今後検討し取り入れていく。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KIZUNA 調布		公表日		2024年9月30日	
		チェック項目		はい	いいえ/わからない	工夫している点	課題や改善すべき点
		適切な支援の提供					
		17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2	●個別支援計画目標に基づきリードの職員がその日のメニューを作成している。 ●リードの職員が主として立てているが、立てたプログラムは皆で事前に共有している。 ●運動指導員が立案し、その後周知し皆の意見を反映している。	●プログラムの目的や子どもの様子に合わせて支援ができるようチームで更に連携を図っていく。
		18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	●様々な運動プログラムを提供している。 ●様々な運動、経験を通し楽しみながら次の学びへ繋がるよう日々工夫している。	●子どもの発達や課題に合わせ、苦手意識のあるものも自信へと繋がっていくよう今後も様々な知識やスキルを職員が身に付けていく。
		19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
		20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	●支援開始前に必ずミーティングを行い、前回活動の様子や配慮事項、プログラム、メニューの確認、役割分担など入念に話し合いを行っている。	
		21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	●支援終了後に必ずひとりひとりの子どもの様子を振り返り、次回の支援に繋がるよう記録を残している。	
		22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	●保護者にサインを頂く書面に記録を取るとともに、データとしても打ち込んで残している。	
		23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	●定期的にモニタリング実施し、適切な支援計画の見直しを行っている。 ●子どもの記録にも定期的に必ず目を通すようにしている。	
		24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	1	●報酬改定後に、より意識して支援を行うように努めている。	
		25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	●子どもの意思を尊重し、自主性を育てられるような支援を積極的に行っている。	
関係機関や保護者との連携		26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	●児童発達支援管理責任者と場合によっては指導員も参画している。	
		27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	5	●ご家族を通じて連携している。 ●保育園からの申し送りを保護者からいただくことがある。	●必要に応じて適宜連携をとっていく。
		28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	5	●送迎がないので直接のやり取りはしていない。 ●ご家族を通じて連携している。	
		29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3	●必要に応じて連携している。 ●直接のやり取りはないが、移行支援として就学支援シートの作成を行っている。 ●ご家族を通じて連携している。	
		30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2	●今のところ、放課後等デイサービスを卒業し障害福祉サービスへ移行した子どもは居ないが、支援内容の情報を提供できる体制は整っている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	KIZUNA 調布			公表日	2024年9月30日	
	チェック項目	はい	いいえ/わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4	<ul style="list-style-type: none"> 子ども発達支援センター主催の公開療育や連絡会に参加し助言を受けている。 調布市の巡回サービスも積極的に受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も連絡会などに積極的に参加し助言やアドバイスを受けて日々の支援に活かしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	<ul style="list-style-type: none"> 年に1回イベントを開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現段階では地域のほかの子どもの交流の場は検討していないが、今後必要時同じような活動の場も検討していく。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	5	<ul style="list-style-type: none"> 協議会や地域連絡会には、機会があれば積極的に参加している。 	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 支援の様子の見学を随時受け入れ、どのような狙いや意図で支援を行っているのかなど丁寧に説明している 学校での連絡事項や、家での様子等も共有している。 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5	<ul style="list-style-type: none"> 研修など保護者向けのものを提示している。 保護者との面談や日々のフィードバックの時間で保護者支援や子どもに対する声掛け、対応方法を提案したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来的に家族支援プログラムを実施できるよう研修などで職員のスキルアップと知識の向上を図っていく。 限られた支援時間の中で時間の調整も検討が必要である。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 契約時含め契約書や重要事項説明書の内容について担当が責任をもって丁寧に説明している。 保護者に疑問点や質問があればその場で回答、解消できるように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営規定に関しては、保護者が自由に閲覧できるファイルを用いて周知している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の意向やニーズはもちろん、子どもの気持ちや意思も尊重しそれぞれの子どもにとって最適な支援計画を作成している。 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 放課後等デイサービス計画に基づいた支援内容を説明し発達段階に合わせた支援計画に同意を得ている。 	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 活動後のフィードバックで悩み等を聞き助言を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> フィードバックの時間だけでは足りない場合は必要に応じ他に面談の時間を設けて支援を行っている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	3	<ul style="list-style-type: none"> きょうだい児の交流はないが年に1回イベントを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者同士の相談の機会を設けてほしい等のご相談があった際には検討していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 苦情などの申し入れがあった際は職員同士で共有、話し合いのもと迅速に対応している。 苦情はデータにも残し、改善するところは改善に繋げている。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> LINEを活用し、行事予定や出欠の連絡など行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ上でも情報の発信を行い、周知していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報記載された書類は鍵付きの棚に保管している。 事務所内は外から見えないようブラインドを閉めるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> PC等からの個人情報へのアクセスはパスワードを設定するなど今後検討していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや保護者の状態に応じて、文面だけや口頭だけにならないよう意思疎通・情報伝達等を図っている。 障がいの理解度に合わせて説明を行っている。 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	<ul style="list-style-type: none"> 一年に一度交流イベントを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民ではないが、利用児童以外にも年に1回運動プログラムに参加できる取り組みをしている。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		KIZUNA 調布		公表日		2024年9月30日	
非常時等の対応	チェック項目	はい	いいえ/わからない	工夫している点	課題や改善すべき点		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	3	●事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアル、感染症マニュアルは揃っており、保護者に周知できるようにしている。	●より様々な訓練を実施できるように努めていく。 ●防犯マニュアルは実用可能なマニュアルを作成していきたい。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	3	●定期的に避難訓練を実施し、実際に災害が発生した際も迅速に対応できるよう緊張感をもって取り組んでいる。また、実施時は実施記録も作成している。	●BPCに関しては研修などを通じて理解を深めていきたい。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	●保護者記載のシートにより把握している。また、必要に応じて聞き取りを行っている。 ●毎日のミーティングで共有するほか、個人ファイルにシールを貼って分かりやすくしている。		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	3	●食物の提供はしていないがアレルギーについても保護者記載のシートにて把握している。 ●個人ファイルにシールを貼るほか毎日の記録シートにも反映している。		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	●日々の支援の中で安全管理、危機管理には職員間で連携を取り、必要な措置を講じている。		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	●子どもの安全確保のため、どのような際にやむを得ず身体拘束を行うかなどについて保護者に十分説明し了解を得ている。		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	●口頭、書類、連絡ツールで共有している。 ●事例発生時にはその都度記録を残し、職員全員で共有するとともに、再発防止の対策を話し合い実践している。		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	●東京都の虐待防止研修に参加した職員が、事業所内で共有のため研修を行っている。 ●調布市内の虐待防止研修に参加した職員が、事業所内で共有のため研修を行っている。 ●虐待防止に関わるセルフチェックを全職員に対して定期的実施している。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	●事業所内に身体拘束を行う方針がないが自傷他害の子どもがいた場合の対応策やどの様な時に身体拘束を行うかは契約時にはすべての保護者に説明し、対象者がいる場合は個別支援計画に記載する。			